

Lecture 授業No.93 教科書P.151～

T.Q.「第2次囲い込みと産業革命の関係とは？」

向出 研司：石川県立寺井高等学校
地歴公民科教諭

直前予習 T. A. キーワード確認

教科書 P.151

T.Q. 「第2次囲い込みと産業革命の関係とは？」

1. 三角貿易
2. 資本(しほん。元手<もとで>)
3. 海外市場
4. 農業革命
5. 石炭

クリックで全て



今日の授業ラインナップ。

1. イギリスで産業革命スタート
2. 第2次囲い込みと農業革命
3. イギリス以外の産業革命

十一章 近現代(19世紀)

T.Q.「第2次囲い込みと産業革命の
関係とは？」教科書P.151～

1 産業 revo.

① 英...19Cには「**世界の工場・銀行**」と呼ばれる

cf.パクス =ブリタニカ ※1

(1) 18C、**産業革命**...工場制機械工業による大量生産
復:それまではマニユファクチュア

∴ { **広い海外市場** ← 仏に勝利
豊かな国内資源 (石炭 etc.)・**資本** ← 奴隷貿易で利益
市民社会の形成 ← **ピューリタン revo.** と **名誉 revo.**

(2) 第2次囲い込み (**農地囲い込み**) と連動

...18C、地主が推進 (合法的に) ※2

1 目的...工業都市への **労働者供給** (A) と **食糧供給** (B)

2 結果...失地農が大量発生 ∴ A が実現 ※3

3 (近代) **農業革命** として B が実現

1/2枚目のスライドはここまで!

2 結果...失地農が大量発生 ∴Aが実現

3 (近代)農業革命としてBが実現

————— ここから

a 資本主義的大農場経営

...経営者が賃金労働者を雇って農作業をさせる

b ノーフォーク農法...大麦→クローバー→小麦→カブの輪作

∴休耕地が不要に ※4

② 英以外

(1) 民間自立型(「下から」の産業 revo. = 先進国タイプ)

1 19C前半で軽工業中心...ベルギー、仏

2 19C後半で重化学工業中心...米

[※T. A. まとめスライドへ](#)

(2) 政府主導型(「上から」の産業 revo. = 後進国タイプ)

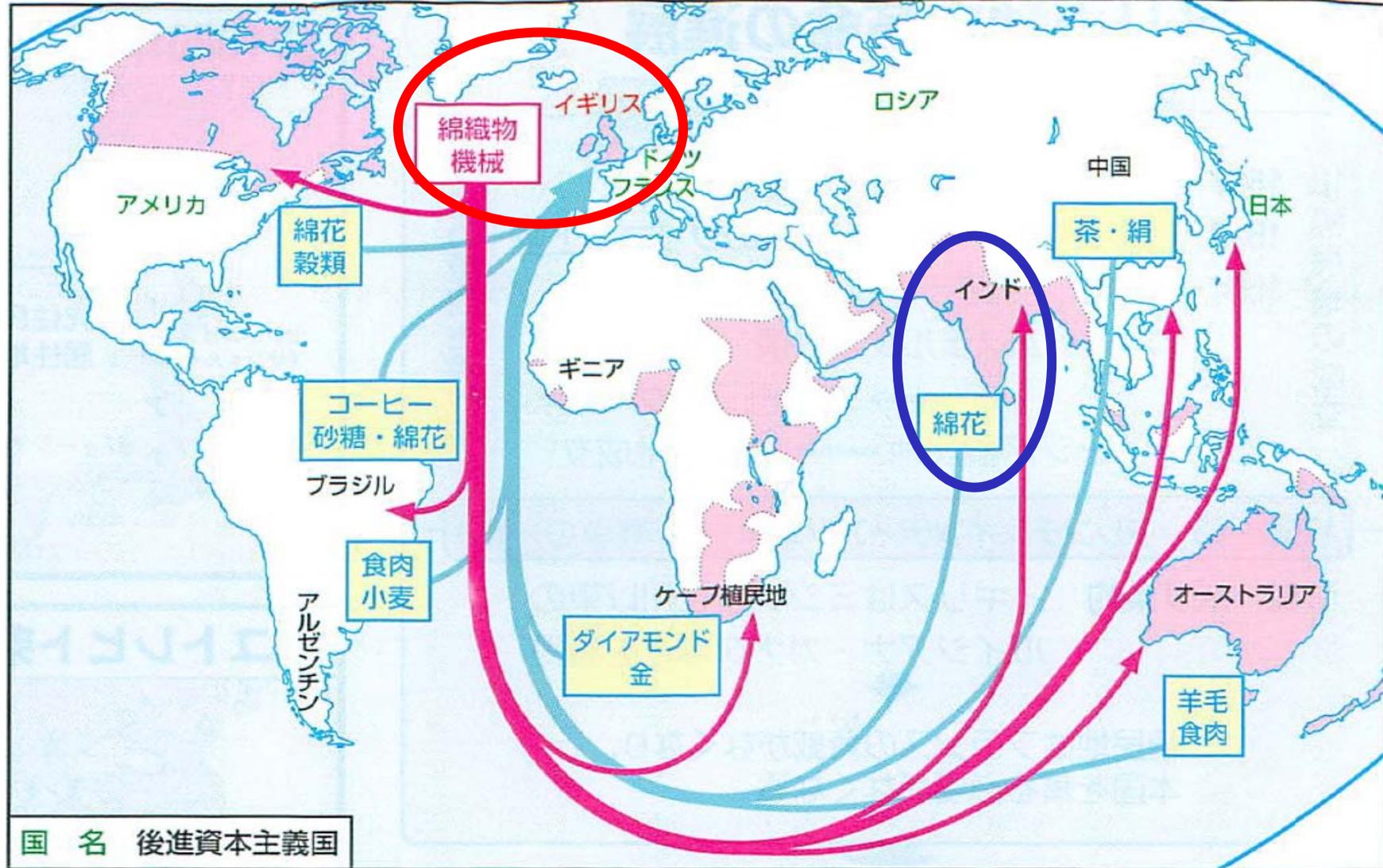
...19C後半で重化学工業中心 ex. ドイツ、ロシア、日本

最後のスライドはここまで!

T.Q.「第2次囲い込みと産業革命の関係とは？」 教科書P.151～

「世界の工場」 イギリス

クリック①:英、②:インド



↑解説 イギリスは、19世紀中頃、世界の工業生産高の2分の1から3分の1、世界貿易額の4分の1を占め、「イギリスの平和(パックス=ブリタニカ)」を現出した。

イギリス風朝食の誕生

クリックで、

産業革命の工場労働者と
「砂糖入りの紅茶」

産業革命後、「世界の工場」となったイギリスで、ポリッジ(オートミールをミルクでといた粥状のもの)、トースト、ベーコンエッグ、砂糖入りの紅茶からなる朝食が誕生した。このような典型的なイギリス風朝食は、東ヨーロッパやラテンアメリカの穀類に中国の紅茶、西インド諸島の砂糖といった食品がイギリスに大量にもたらされたことによって成立した。「砂糖入りの紅茶」中心の朝食は産業革命期以後、都市労働者の間でも定着し、砂糖のたっぷり入った紅茶は、糖質とカフェインで労働者を元気づけた。



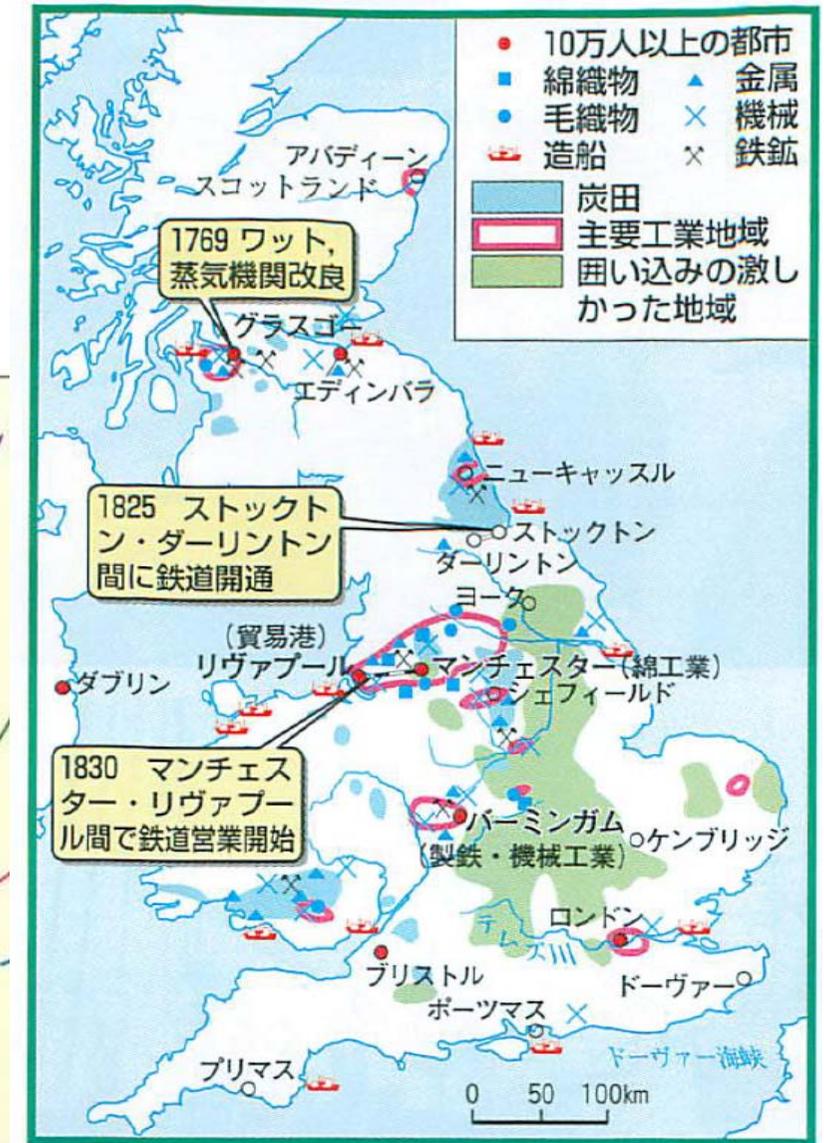
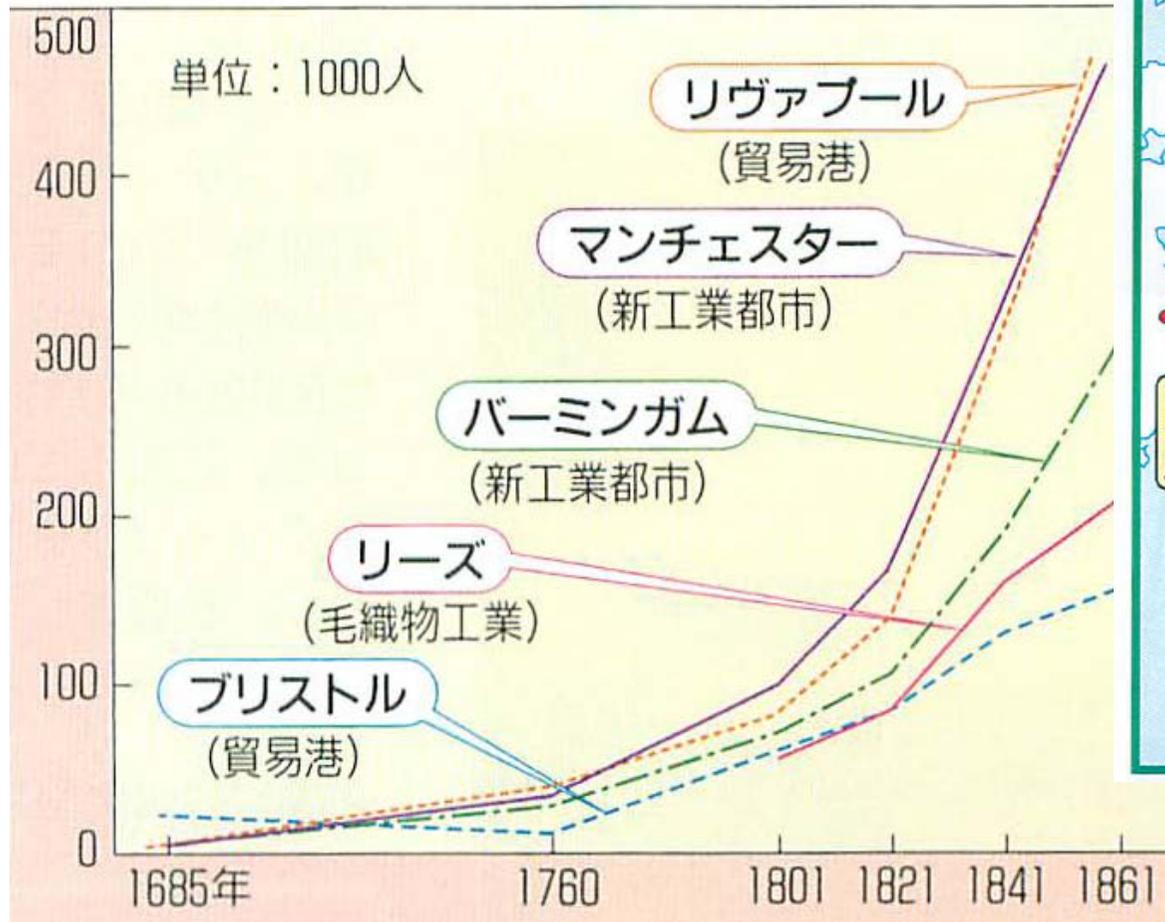
クリック①: 羊(毛織物)か小麦(工場労働者の食糧)か

※2

クリック②: 非合法か合法(議会立法)か

	第1次囲い込み	第2次囲い込み
時代	15世紀末～17世紀中頃	18～19世紀
目的	羊毛の増産  P.161	小麦などの穀物の増産
推進方法	ジェントリ・富農により 非合法的に推進	議会立法により、合法的に推進
特色	規模は小さく、共有地の 囲い込みなどが多い	大規模で、森林・原野に まで囲い込みがおよぶ
結果	マニユファクチュアの賃 金労働者を生み、羊毛工 業が発達	資本主義的大農経営が発 達し、工場制機械工業の 賃金労働者を生む

※3 クリックで、地図と主要工業都市



耕地を3つに分けた三圃制

※4



クリック
①～③で
春耕地
↓
秋耕地
↓
休耕地
に注目

↑中世の農村 荘園の中心に教会と領主の館，農奴の家が集まり，その周囲に耕地や放牧地が広がる。耕地は三圃制により，春耕地・秋耕地・休耕地に分かれる。

Movie Lecture 授業No.93

T.Q.「第2次囲い込みと産業革命の関係とは？」

第2次囲い込みの目的は資本主義的経営の大農場を作ることであり合法的に行われた。これにより直接的には農業資本主義、食糧の増産を生んだが、間接的には土地を失った人々(失地農・離農者)をも大量に発生させた。当時工業都市は食糧だけでなく労働力不足だったので、彼らが労働力となり英で始まった産業革命の要因の一つとなった。